

進路「夢」実現



進路だより 第1号
令和5年6月2日発行
大笹生支援学校キャリア支援部

校長あいさつ

校長 西牧 辰典



新型コロナウイルスは、以前に比べ感染者数は減少しているものの、まだまだ終息したとは言えず、予断を許さない状況にあります。本校におきましても感染予防及び感染拡大防止の対策を講じ、子どもたちの学習や行事を止めることなく教職員一丸となって取り組んでいるところです。この取組を支えていただいている企業や事業所、福祉関係機関及び御家庭の皆様の並々ならぬ努力に改めて感謝申し上げます。

本校では、卒業後、自立し社会参加することができるよう、地域性や社会の変化、産業の動向や児童生徒の障がいなどの状態に応じた多様な職業教育の在り方を工夫し、学校教育全体を通じて小学部、中学部、高等部と一貫したキャリア教育を計画的に進めています。

今年度も進路実現に向けて、生徒一人一人との進路相談から始まり、特性を活かした能力を日々の授業で伸ばし、働く力をさらに高めるための校内実習や、企業及び事業所での産業現場等における実習を進めていきます。各実習から得られる新たな能力の開発や課題が明らかになり、それらを学校の授業にフィードバックしながら繰り返し実践していきます。

繰り返しの取組は、地道な積み重ねではありますが「できる」ことからの「自信」と「達成感」は、充実した社会生活へとつながっていきます。

これからの社会情勢は予想しづらいところがありますが、いつの時も学校教育において重要なのは一人一人の能力を伸ばしていくことです。そして、仕事でも生活でもどんな小さなことでもいいですから「夢」をもって、前に進んでいくことが東日本大震災や現況のコロナ禍を経験しているからこそこれからの時代に必要なことではないでしょうか。

そのためには引き続き、保護者の皆様や関係機関の皆様、地域の皆様の御協力と御支援を、今後ともよろしくお願いいたします。



高等部産業現場等における実習が始まります

高等部主事 二階堂俊介

新学期がスタートして2ヶ月が経過し、1年生も新しい高等部生活に慣れてきたようです。6月に入り、高等部の大きな行事のひとつでもある「前期産業現場等における実習」（通称：現場実習）が始まります。1年生を中心とした校内での実習と、2、3年生を中心とした校外での実習となり、期間は6月5日（月）から6月16日（金）までの2週間となります。新型コロナウイルス感染症予防には、引き続き細心の注意を払い実施していきたいと考えております。

校内での実習は、各企業様より材料を御提供いただき実施する「箱折り班」（菓子用箱を折る作業など）、「シール加工班」（水道等の塩ビ管に JAN コード（バーコード）シールを貼り、袋詰めする作業など）と、校舎内外の清掃活動や体育館のワックスがけなどを行う「クリーン活動班」、牛乳パックやシュレッダーごみを再利用してリサイクル製品を作製する「リサイクル班」の4つの班に分かれての活動となります。また、2、3年生を中心としての校外での実習は、多くの企業様や福祉サービス事業所様の御協力のもと、実習を実施させていただく予定です。

産業現場等における実習を通して、働くことや社会生活を送るために必要なことを実際に学ぶとともに、自分の適性や課題を改めて確認し、卒業後の進路実現を図ることを目指しています。

保護者の皆様にはお子様の進路実現に向けた目標が達成できますよう励ましの言葉や実習に際しましての御協力をお願いいたします。

昨年度の現場実習の様子



サン・ベンディング福島



あづま授産所



クリーン活動班



カレンダー班



シール加工班



リサイクル班

卒業生体験発表会に参加して

◎5月22日(月)に「卒業生体験発表会」を開催しました。中学部3年生6名、保護者19名の参加がありました。

高等部3年 S. K

5月22日にS. Kさん、I. Kさん、お二人の先輩にお越しいただき、卒業生体験発表会が行われました。お二人は一昨年の卒業生で社会人2年目です。私も来年には、社会に出て働く立場になるので、どのようなお話をお伺いできるのか楽しみにしていました。

お二人の話を伺い、働く上で大切だと感じたことが3つあります。一つ目は「挨拶、報告」です。緊張して話せない時がありますので、自分から挨拶をして周囲の人とコミュニケーションを取りたいと思います。二つ目は「時間を見て行動すること」です。周囲の雰囲気慣れてくると時間が過ぎてしまうことがあるので、休み時間と仕事の気持ちを切り替え、時間を見て行動できるように、学校生活でも意識していきたいと思いません。三つ目は「集中力」です。長時間作業をしても諦めずにやり遂げる力を身につけたいです。

卒業後に、大笹生の卒業生として胸を張って生きていけるよう、今回の先輩方のお話を胸に、頑張っていきたいと思えます。



高等部2年生保護者

子供が高等部2年生でお世話になっています。来年3年生になり、進路について考える時期になるので、「卒業生体験発表会」に参加させていただきました。

発表前にVTRを見せていただきました。パン屋さんで働いている姿から、丁寧に仕事に取り組んでいらっしゃる事が伝わってきて、とても感心しました。コミュニケーションが苦手だったので、人と接する仕事がしたいと思い、ヤマト運輸への就職を決めたこと。また、荷物の受付の際は、お客様と目を合わせて話すよう、心がけていることなど、苦手なことにチャレンジして努力する姿勢は見習いたいと思いました。

お二人の話に共通していたことは、挨拶、周囲の人と仲良くする、時間を守る、体力をつけることと話していました。改めて、どこで働いても必要なことや求められていることは同じだと感じました。高等部の先生方は、周りの方に感謝の気持ちを表し、周りの方のアドバイスを素直に聞き入れることが大切だとお話ししてくださいました。このような姿勢が、周囲の方とのコミュニケーションにつながってくるのだと思いました。高校在学中にパソコン検定にチャレンジし、タイピング練習を行っていて良かったとお話しされていました。子供がやってみたい事には、どんどん挑戦させていきたいと思いました。

今回、卒業生のお二人の貴重なお話を聞くことができ、とても勉強になりました。卒業後の進路について、今日のお話を参考に、子供と話し合っていきたいと思えます。ありがとうございました。

進路希望調査の集計結果から

高等部進路希望状況

(1学年 31名 2学年 32名 3学年 33名 全96名)

希望内容	1年(人)	2年(人)	3年(人)	合計希望数(人)	希望率(%)
進学	0	0	0	0	0
企業就職	9	7	7	23	23.9
福祉就労	16	15	19	50	52.0
どのような進路を選択するか考慮中	1	7	3	11	11.4
その他	2	0	4	6	6.2
未定・無回答	3	3	0	6	6.2

(令和5年5月15日現在)

4月、5月に、高等部2、3学年の生徒を対象に進路希望調査を実施しました。今年度も、生徒一人一人の進路実現のために、学校、家庭、関係機関と連携しながら進路指導を進めていきたいと思っています。

小学部、中学部は第1回の進路希望調査を早めに実施し、個別懇談に活かせるようにしました。保護者の皆さま、ご協力よろしくお願いたします。

南校舎1階の掲示板に「進路掲示板」として、各事業所の情報等を随時、掲示しておりますので、進路を考える際などに参考にしてください。また、南校舎1階職員室には進路担当者がおりますので、ご質問などありましたら、どうぞお気軽にお立ち寄りいただければと思います。

キャリア支援部 進路指導主事 小柴 潤子

新規の事業所紹介

特定非営利活動法人
テゾーロ
生活介護事業所
星来(せら)
(生活介護事業所)

住所：福島市大笹生字西荒
7-1
電話：024-529-5880

社会福祉法人
ひろせ福祉会
インクルーシブたかこ
(生活介護・就労継続支援
B型)
住所：伊達市保原町高子岡
238
電話：024-573-4822

就労移行支援事業所
グッドライフパートナー
福島駅前
(就労移行支援事業所)

住所：福島市置賜町1番
29号
電話：024-563-5119